からだ　のえほん

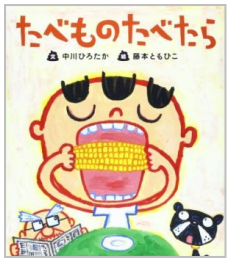
『こころとしんぞう』
なかがわ　ひろたか／文
むらかみ　やすなり／絵　保育社
うんどうかいのまえのひ
ドキドキしてねむれない。
かけっこしたら　やっぱりドキドキ。
どうしてドキドキするんだろう？

『おなら』
ちょう　しんた／作　福音館書店
おならは、どうしてでるんだろう？
どうしてくさいんだろう？
どうぶつもおならをするよ。
どんなおならをするのかな？

『あしってエラい』
なかがわ　ひろたか／文
おおしま　たえこ／絵　保育社
あしって、いろんなことができる。
あるく、はしる、およぐ、とぶ…。
あしってえらい。

『ぼくの手わたしの手』
なかがわ　ひろたか／文
さいとう　みはる／写真　保育社
“て”は、いろんなことができる。
あそんだり、つくったり、つつんだり
だれかとつないだり…。

幼児向け



『たべものたべたら』
なかがわ　ひろたか／文
ふじもと　ともひこ／絵　保育社
きのうたべたものが、きょうのうんこに
なってでてきた。
ぼくのくちと、ぼくのおしりは
つながっているのかな？

『むしばミュータンスのぼうけん』
かこ　さとし／著　童心社
むしばミュータンスは、くちのなかに
すんでいる“ばいきん”。
“は”についた、たべもののかすをたべる。
むしばミュータンスはあまいものが
だいすきなんだ。